



PAPERPORT 14 SE

ユーザーズ ガイド

ご 利 用 条 件

Copyright © 2012 Nuance Communications, Inc. All rights reserved. このマニュアルのいかなる部分も Nuance Communications, Inc., 1 Wayside Road, Burlington, Massachusetts 01803-4609 の書面による事前の承認なしに、いかなる検索システムによっても転送、転記、複製、保管したり、機械的、電子的、磁氣的、光学的、化学的、手動など、いかなる形態または手段であれ、他の言語またはコンピュータ言語に翻訳したりすることを禁止します。このマニュアルで説明されているソフトウェアは、ライセンスの下で提供されており、当該ライセンスの条件を満たす範囲でのみ使用またはコピーが許可されます。

重要なお知らせ

Nuance Communications, Inc. はこのマニュアルを、黙示の商品性の保証や特定目的への適合性などを含む明示的または黙示的な保証をすることなく「現状のままで」で提供します。一部の国や司法管轄区では、特定取引における明示的または黙示的保証の権利放棄が認められていないため、この声明が適用されない場合があります。Nuance は、改訂や変更について誰にも通知する義務を負うことなくこのマニュアルを改訂する権利、およびその内容を適宜変更する権利を留保します。

商標および著作権の表示

このマニュアルの巻末に示されているリストをご覧ください。

エンドユーザー ライセンス契約

このテキストは、[ヘルプ] リボンからアクセスする [PaperPort について] パネルからご覧ください。

Nuance Communications, Inc.

1 Wayside Road, Burlington, Massachusetts 01803-4609, U.S.A.

Nuance Communications International BVBA

Guldensporenpark 32, Building D, BE-9820 Merelbeke, Belgium

PaperPort 14 SE Getting Started Guide, 2012 年 4 月

目 次

PaperPort へようこそ	5
PaperPort のインストール	6
登録	7
PaperPort の習得	7
技術サポート	8
PaperPort 14 SE で新しくなった機能	10
主な機能	11
 PaperPort を理解する	 13
PaperPort デスクトップ	13
PaperPort リボン	15
PaperPort アイテム	15
MAX から PDF コンバータ	16
[フォルダ] ペイン	17
PaperPort アイテム サムネイル	19
PaperPort ページ サムネイル	21
[画像表示] ウィンドウ	22
カスタマイズ可能なクイック アクセス ツール バー	24
PDF Viewer Plus	24
 アイテムを取得する	 25
PaperPort デスクトップにスキャンする	26
スキャナを PaperPort に合わせてセットアップする	27
スキャン プロファイルを使用する	28
PaperPort に出力する	28
PaperPort フォルダを追加する	29
カメラから写真をインポートする	30
 画像の修正	 30
手動による画像調整	35
複数の画像を編集する	35
 ページへの注釈の追加	 36
注釈ツール	37

アイテムの保護	39
アイテムのファイル管理	39
アイテムへの検索条件の追加	40
アイテムの検索	41
ファイルの共有	44
クラウドへの接続	45
他のプログラムにアイテムを送信する	46
PaperPort で OmniPage を使用する	47
[送り先] バーのカスタマイズ	48
[送り先オプション] の調整	48
アイテムの変換	49
アイテムを画像形式に変換する	49
ドキュメントを積み重ねる	50
ドキュメントを結合する	50
画像をテキストに変換する	51
フォームへの記入	51
PDF ファイルのサポート	52
PDF ドキュメントを作成する	54
PaperPort のアンインストール	55
商標および著作権の表示	56

PaperPort へようこそ

Nuance® PaperPort® 「ユーザーズガイド」によようこそ。本ガイドは、画面上で読めるように PDF ファイルで提供されています。紙に印刷する場合は、両面印刷を使用して 2 ページを 1 枚に印刷することをお勧めします。

PaperPort では書類を簡単にデジタルドキュメントに変換して整理できるため、オフィス内の誰もがすばやくドキュメントを見つけて使用できるようになります。

PaperPort はスキャナ、多機能プリンタ、およびネットワーク デジタル コピー機などと連携して、書類をデジタルドキュメントに変換します。変換後のドキュメントは、便利で使いやすいファイリングシステムによって他の電子ドキュメントと共に管理できます。

PaperPort のサムネイルは大きくて見やすく、Word ファイル、スプレッドシート、PDF ファイルなどからデジタル写真に至るまで、スキャンしたドキュメントを視覚的に整理、検索、使用できます。PaperPort の SET (Scanner Enhancement Technology) では、スキャンしたドキュメントの体裁を整えることができ、注釈ツールを使うとスキャンした画像にメモやマーカーを追加できます。

付属のプログラム

PaperPort 14 SE (スペシャル エディション) には、PaperPort 画像プリンタ、スキャナ セットアップ ウィザード、ImageViewer アプリケーション (PaperPort とは別のウィンドウでのページ画像の表示、作業)、および PDF Viewer Plus (PDF ファイルの表示と作業) が含まれます。

追加のコンポーネントとして、クラウド サイトにアクセスするための Nuance Cloud Connector と、MAX から PDF コンバータがあります。



PaperPort のインストール

PaperPort は CD、DVD、またはインターネットからインストールできます。インストール プログラムによって、手順を追ったガイドが示されます。各画面のガイドに従ってソフトウェアをインストールしてください。インストールおよびアンインストールには、管理者権限が必要です。

PaperPort のインストールでは、以下の 4 つの要素が 1 つのプロセスでインストールされます。

- PaperPort プログラム (ImageViewer、MAX から PDF コンバータ、Evernote Connector、およびスキャニング ウィザード)
- PDF Viewer Plus
- PaperPort 画像プリンタ
- Nuance Cloud Connector (オプション インストール)

最上位の Nuance 製品である PDF Converter Professional (バージョン 6 以降) がコンピュータ上に検出された場合、この製品には PDF Viewer Plus のすべての機能と、より多くの追加機能が含まれているため、PDF Viewer Plus はインストールされません。



PaperPort が重複してインストールされるのを避けてください。

PaperPort およびその主要コンポーネントをインストールするには

1. Autorun.exe をクリックします。
2. インストール言語を選択します。
3. プログラムのインストール先を受け入れるか、変更します。

場合によっては、シリアル番号の入力を求められます。

PDF Viewer Plus をインストールする際は、以下のチェックマークが表示されます。

Nuance PDF を Windows および Internet Explorer のデフォルトのビューアにする

これにより、PDF Viewer Plus がデフォルトの PDF ビューアになります。PaperPort デスクトップ上の PDF ファイルは、デフォルトで Nuance PDF 製品によって開かれます。このオプションを選択すると、システム上でダブルクリックした PDF ファイルは PDF Viewer Plus で開かれます。

Nuance Cloud Connector をインストールする

このオプション アプリケーションを使用すると、一般的な Web ベースのストレージ サイトとの間で簡単にファイル転送を実行できます。デフォルトでは、このアプリケーションはインストールされません。

Autorun によってインストーラが起動します。[完全] インストールと [カスタム] インストールがあります。[カスタム] は、インストール時に、提供される PaperPort フォルダに独自のフォルダを追加する場合にのみ選択してください。フォルダは後から追加できます (29 ページを参照)。



登録

インストール後に登録画面が表示される場合があります。登録を行うと、Nuance® の製品サポートを最大限活用することができます。また、製品が更新されたときに通知を受け取ることができます。登録情報を更新する必要がある場合は、いつでも Nuance ウェブ サイト (<http://www.nuance.com>) で実行できます。

PaperPort の習得

このマニュアルでは PaperPort について紹介し、PaperPort が情報管理にどのように役立つかを説明します。

さらに、総合的なヘルプ システム、使い方ガイド、リリース ノート、Nuance のウェブ サイトなどの情報源も PaperPort の使い方を知るのに役立ちます。これらには、[ヘルプ] リボンからアクセスできます。

このガイドの使い方

このガイドは、ユーザーが Microsoft® Windows® の環境で作業する方法を理解しているという前提の下に書かれています。ダイアログボックス、メニュー コマンド、スクロール バー、ドラッグ アンド ドロップ機能、ショートカット メニューなどの使い方について疑問がある場合は、Windows のドキュメントを参照してください。



ヘルプを使用する

PaperPort のヘルプには機能、設定、手順など詳細な情報が含まれています。ヘルプは PaperPort の [ヘルプ] リボンから表示できます。技術的な情報、ソフトウェアの更新、製品情報、製品サポートといった追加的な技術サポートやその他の情報も、PaperPort のリボンから利用できます。PDF Viewer Plus および PDF Converter Professional にもそれぞれのヘルプ システムがあり、PDF 作成に関するガイドが示されています。

リリース ノートの使い方

PaperPort のリリース ノートには今回のプログラムのリリースに関する重要な情報が掲載されています。このドキュメントはインストール CD または DVD に含まれており、PaperPort の [ヘルプ] リボンからアクセスできます。また、PaperPort デスクトップのサンプル ドキュメントにも含まれています。

技術サポート

技術サポートをご利用になる前に、ユーザー ドキュメントを確認し、リリース ノートをご覧ください。セルフ サービス形式の 24 時間対応サポート技術情報を <http://www.nuance.com> または <http://nuance.custhelp.com> からご利用いただけます。PaperPort スペシャル エディション向けのパーソナライズされた技術サポートが、ご購入元の販売店を通じて提供されます。詳細については、販売店にご連絡ください。

最小システム要件

- ・ 最小ハードウェア要件
 - Intel Pentium™ 互換、またはそれ以上のプロセッサ
 - 1 GB のメモリ (RAM)
 - アプリケーション用およびインストール用に 800 MB のハード ディスク空き容量
 - Nuance Cloud Connector 用に 30 MB
 - 1024 x 768 の解像度を持つ 16 ビット (High Color) 以上のディスプレイ
- ・ サポートされているオペレーティング システム
 - Windows XP 32 ビット SP3 以降
 - Windows Vista 32 ビットおよび 64 ビット SP2 以降
 - Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット
 - Windows 8、32 ビットおよび 64 ビット
- ・ サポートされているウェブ ブラウザ
 - Windows Internet Explorer 7 以上
 - Mozilla Firefox 3.6 以上
 - Google Chrome 4 以上

インストールには CD または DVD ドライブ、またはウェブ アクセスが必要です。オンライン アクティベーション、登録、技術サポート、およびライブ アップデートには、インターネット接続およびウェブ アクセスが必要です。



性能と速度は、コンピュータのプロセッサ、メモリ、利用可能なディスク容量が最小要件を超えるとより向上します。これは、非常に大きなカラー画像および PDF ファイルを取扱う際に顕著です。

PaperPort 14 SE で新しくなった機能

PaperPort 14 SE には、ドキュメント管理に役立つ多数の新機能が盛り込まれています。



Nuance Cloud Connector

このサービスは、ご使用のコンピュータと PaperPort を Microsoft Live SkyDrive™、GoogleDocs™、Box.net™ などの一般的なウェブベースのストレージ サイトや複数の FTP サイトなどと接続します。Connector は Microsoft Windows と直接統合されるため、ドラッグ アンド ドロップ で簡単にクラウド サービスに直接アクセスできます。Nuance Cloud Connector は、Gladinet Cloud Desktop Pro というさらに高機能な製品にアップグレードすることもできます。この強化されたバージョンには、自動バックアップやファイル同期などのクラウド サービスを使用するための機能が追加されています。



Evernote Connector

[送り先] バーには、PaperPort アイテムをクラウド サービスに転送できるようにする Evernote ウェブ ストレージ機能へのリンクがあります。



新しい SET ツール

さまざまなアルゴリズムを選択できる手動でのノイズ除去によって、最適な OCR 結果のためのよりよい白黒画像が得られます。

新しいエッジ クリーニング ツールには、自動化されたパンチ穴の除去、ページの自動トリミング、罫線の消去が含まれます。

主な機能

高品質の PDF パフォーマンス

PDF Viewer Plus は、主要な PDF 作成製品すべてと完全な互換性がある Nuance の PDF 処理アプリケーションで、PDF ファイルをすばやく開いて表示できます。PDF Viewer Plus は汎用的な ImageViewer よりも速くファイルを開くことができ、必要メモリが少なく、ファイルサイズが小さくて済みます。ビューアはレンダリング解像度をページ上の要素ごとに最適化して、より美しい表示と最適な印刷解像度を実現します。

PDF Viewer Plus は、注釈機能およびダイナミックまたは透過色のスタンプ機能を備えています。PDF Viewer Plus によって処理する PDF ドキュメント内の画像を ImageViewer に送り、SET ツールを使用して調整し、変更した画像を PDF に戻すことができます。

PDF フォームに記入して電子メールで送信したり、まったく新しい PDF フォームを作成することができます。

Scanner Profiles を使用するか、PaperPort デスクトップで右クリックして **[名前を付けて保存]** 操作を行うか、直接 PDF Viewer Plus で操作することにより、検索可能 PDF ファイルを作成できます。これにより、スキャンしたドキュメントまたは画像ファイルの内容が Windows デスクトップ サーチ™ や Google™ といった検索エンジンからアクセスできるようになります。

正確な OCR

Optical Character Recognition (光学式文字認識) に言語設定を適用することにより、対応済みのすべての言語で精度を向上させることができます。

デジタル カメラ入力

デジタル カメラでドキュメントの写真を撮り、その写真をテキストドキュメントに正確に変換することができます。この処理は、ページイメージを確定して歪みを補正することにより、生成されるテキストドキュメントの精度を高める、特別な 3D 傾き補正アルゴリズムを適用することによって行われます。

PaperPort の信頼性を高める

PDF ファイルが破損して開かなくなる場合があります。このような場合、PaperPort はデスクトップ サムネイルを生成できず、このために PaperPort が正常に起動しなくなる可能性があります。

PaperPort プログラム フォルダには、`CheckPPFolders.exe` ユーティリティ プログラムがあります。このプログラムを実行すると、PaperPort が正しく動作するように破損したファイルを特定して削除できます。

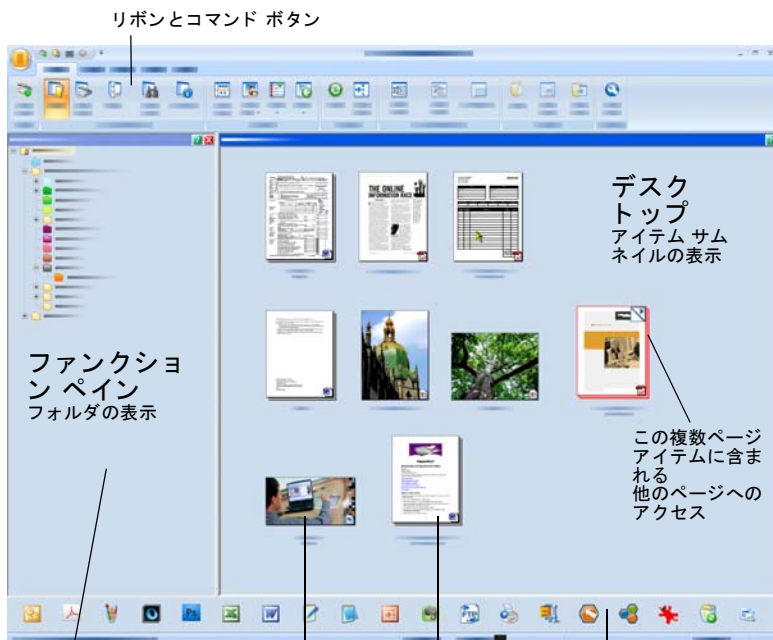
PaperPort Special Editions は、特定のスキャナ メーカーやその他のリセラー向けに用意されています。これらのエディションにおいては、各メーカーの要望を踏まえて、機能セットが変更されることがあります。

PaperPort を理解する

このセクションでは、PaperPort の各部分を紹介します。各トピックの詳細については、PaperPort ヘルプを参照してください。

PaperPort デスクトップ

PaperPort プログラムを最初に起動すると、PaperPort デスクトップが [フォルダ] ペインと共に表示されます。指定したフォルダ内のドキュメントがサムネイルで表示され、これらを管理するためのツールが提供されます。PaperPort ではドキュメントと画像の整理、検索、使用に必要なツールがすべて提供されています。デスクトップおよびその要素の配色を選択するには、[デスクトップ] リボンの [オプション] を選択し、[デスクトップ] パネルに移動します。



ファンクション ペインには以下が表示されます：

- フォルダ
- スキャン設定
- サムネイル
- All-in-One Search
- プロパティ

画像アイテム
サムネイル

テキスト
アイテム
サムネイル

[送り先] バー

PaperPort リボン



PaperPort 14 および ImageViewer は、タブとリボンによる最新のインターフェイスを備えています。主要要素は以下のとおりです。

1. [PaperPort] ボタン
2. クイック アクセス ツール バー (24 ページを参照)
3. タブ
4. タブに関連付けられたリボン
5. リボン内のグループ
6. グループ内のボタン
7. ボタンのドロップダウン リスト

PaperPort アイテム

PaperPort で取得したドキュメントや写真はアイテムと呼ばれます。アイテムには次の 2 種類があります：**画像アイテム** および **テキスト アイテム**。

- **画像アイテム**には、スキャンしたドキュメント、写真、図、および画像形式の他のデジタル アイテムである PDF 画像、検索可能 PDF、JPEG、TIFF、PaperPort 画像ファイル (MAX ファイルは読み取り専用) などがあります。これらは、PaperPort デスクトップにスキャン、コピー、インポートすることができます。
- **テキスト アイテム**は Word (.doc)、HTML、Excel ファイルなど編集可能なテキストが含まれたドキュメントで、ワードプロセッサおよび他のテキスト ベースのアプリケーションによって作成されます。ノーマル PDF ファイルは、テキスト アイテムと見なされます。

画像アイテムをダブルクリックすると、アイテムはデフォルトで画像表示で表示されます。ここには、SET ツールなどさまざまな画像処理ツールが用意されています。この動作を変更するには、[オプション]>[デスクトップ]を使用します。ImageViewer を選択すると、画像表示と同じ機能を使用できますが、独立したウィンドウ内に表示されるため、選択したアイテムを編集している間も PaperPort デスクトップを表示しておくことができます。これは、モニターを 2 台使用している環境で特に便利です。また、ファイル タイプに関連付けられたアプリケーションでアイテムが開くようにすることもできます。

PaperPort では、以下に示す任意の PDF ファイルを使用できます。PDF 画像、検索可能 PDF、PDF 形式のテキストおよびグラフィックス (PDF ノーマル)。PDF アイテムは、デフォルトでは、PDF Viewer Plus または (使用可能な場合は) PDF Converter Professional で開かれます。これらの Nuance 製プログラムは、PDF ファイルの処理、注釈の追加、編集に最適化されています。この動作を変更するには、[オプション]>[デスクトップ]を使用します。PDF 画像または検索可能 PDF ファイルを ImageViewer で開くと、SET ツールを使用してアイテムの品質を向上させることができます。

PaperPort プログラムから直接、簡単に他のプログラムにアイテムを送信できます。デスクトップの下部にある [送り先] バー中のリンク アイコン上へアイテムをドラッグするだけです。ワード プロセッサ、スプレッドシート、FAX、インターネット電子メール、グラフィックス、光学式文字認識 (OCR) プログラムなど、さまざまなプログラムがサポートされています。



MAX から PDF コンバータ

MAX ファイルは、長い間、PaperPort 画像アイテムの独自の形式として使用されてきました。この機能は、汎用性の高い PDF ファイル タイプに引き継がれました。PaperPort 14 では、MAX ファイルの機能を制限しています。ページ単位で表示することはできませんが、注釈を付けたり、積み重ねて表示したり、編集することは

できません。PaperPort 14 でメタデータ（作者、サブジェクト、キーワードなど）を追加することはできません。既存のテキストは維持されます。言い換えると、現在 MAX ファイルは読み取り専用であり、他のプログラム（メール アプリケーションや、OCR のための OmniPage など）にエクスポートすることはできません。

この変更に伴って、Nuance では、MAX ファイルを PDF に変換するためのウィザードのようなプログラムを用意しています。MAX から PDF コンバータは、Windows の [スタート] メニューから [PaperPort] サブメニューを選択すると表示されます。MAX ファイルのテキストに対して OCR を実行することによって、PDF 画像や PDF 検索可能ファイルを作成できます。コンバータを実行すると、生成される PDF に注釈を埋め込むことができます。言語は、MAX ファイルの内容とその注釈に対して個別に選択できます。このコンバータは、PaperPort フォルダにあるすべての MAX ファイルを自動的に検出します。

[フォルダ] ペイン



[フォルダ] ペインでは、Windows エクスプローラーと同じように PaperPort のフォルダが階層的に表示されます。フォルダ ツールを使って、すばやくコマンドにアクセスできます。

PaperPort によって、[**マイ PaperPort ドキュメント**] という名前の PaperPort フォルダが [**マイドキュメント**] フォルダにインストールされます。マルチユーザー システムを使用している場合は、各ユーザーが自分の [**マイ PaperPort ドキュメント**] フォルダを持ちます。

[**マイ PaperPort ドキュメント**] フォルダには、PaperPort のアイテムをさまざまな方法で整理できるように、[**記事**]、[**名刺**]、[**写真**]、[**レシート**] などの名前が付いたサブフォルダがあります。

[**サンプル**] フォルダには、PaperPort の使用を開始する際に役立つサンプルドキュメントや写真が用意されています。

このユーザーズ ガイドは、[**サンプル**] フォルダに読み取り専用の PDF ファイルとして置かれています。確認のためにテキスト ファイル (PDF ノーマル) が必要な場合は、アイテムをコピーし、コピーの読み取り専用プロパティを解除することをお勧めします。



[**フォルダ**] を選択すると、事前に用意されているフォルダが [**フォルダ**] ペインに表示されます。フォルダを選択し、右クリックしてから [**新規フォルダを作成**] を選択して、指定した名前と色を持つ空のサブフォルダを追加します。フォルダ マネージャを使用すると、ファイル システムにある既存のフォルダおよびサブフォルダを追加できます。これにより、使用しているコンピュータとは異なる外観をフォルダに設定して、PaperPort での操作と同じようにカスタマイズすることができます。



[**ツール**] リボン上の [**フォルダ マネージャ**] を選択するか、[**フォルダ**] ペイン内を右クリックして [**フォルダ マネージャ**] を選択します。[**追加**] をクリックして、既存のフォルダまたはサブフォルダを参照します。フォルダまたはサブフォルダがそのサブフォルダおよび内容と共に、最上位フォルダとして PaperPort デスクトップに追加されます。たとえば、C:\MyReports\Fourth Quarter を選択すると、PaperPort では **Fourth Quarter on C** と表示されます。追加したフォルダのフル パスを後から確認するには、右クリックして [**プロパティ**] を選択します。また、フォルダを右クリックしてフォルダの色を変更することもできます。

フォルダ マネージャを使用すると、管理対象になっている最上位フォルダの名前変更、削除、並べ替えを行うことができます。これは、コンピュータ上でマップされているフォルダの名前、場所には影響せず、フォルダが削除されることもありません。フォルダ マネージャを使用して追加していないサブフォルダの名前を変更した、または並べ替えを行った場合は、実際にシステムで名前が変更されたり移動されます。



[**フォルダ**] ペインの表示と非表示を切り替えるには、[**デスクトップ**] リボンの [**フォルダ**] ボタンをクリックします。デスクトップを分割すると、各ワークスペースに [**フォルダ**] ペインを表示することができます。

PaperPort アイテム サムネイル



サムネイルには次の 2 種類があります：**アイテムサムネイル**、**ページサムネイル**。アイテムサムネイルは、ドキュメントや写真を小さくしてグラフィック表示したものです。ページサムネイルは、画像アイテムおよび PDF ファイルの画像を PaperPort デスクトップ上と ImageViewer 中のどちらにも表示できます。

PaperPort アイテムをすばやく検索する方法の 1 つは、PaperPort デスクトップのサムネイルの一覧を参照することです。サムネイルを使用すると、ドキュメントを開かずに内容を確認できます。また、ドキュメントを開かずにページをスクロールできます。PaperPort では、以下のようなドキュメントや写真が大きく見やすいサムネイルで表示されます。

- スキャンしたページや写真
- デジタル カメラの写真
- BMP、TIFF、JPEG、GIF、MAX（読み取り専用）などの形式の画像ファイル
- Microsoft Word、PowerPoint®、Excel®、Word Perfect™ など、一般的なソフトウェア プログラムで作成されたドキュメント
- PDF ドキュメント
- PDF 画像アイテム
- HTML ドキュメント

各アイテムサムネイルには、そのアイテムが作成されたプログラムや、アイテムが現在関連付けられているプログラムを表すアイコンが表示されます。これにより、コンピュータ上のさまざまなタイプのアイテムを簡単に閲覧したり検索することができます。

サムネイルをクリックすると画像の属性が表示されます。



は、そのアイテムに読み取り専用属性が設定されていることを示します。



は、画像に注釈が付けられていることを示します。



は、PDF ファイルが検索可能テキストであることを示します。

複数ページ アイテム (TIFF、DCX、PDF など) には、ページ サムネイルが表示されていないときでもページをスクロールできる  が表示されます。

アイテムに対して作業するには、まず PaperPort デスクトップでサムネイルを選択する必要があります。選択されたアイテムは、周囲に赤い境界線が表示されます。複数選択できます。アイテム サムネイルに対しては、以下の操作を実行できます。

- サムネイルをドラッグすると PaperPort デスクトップ上で移動することができます。
- サムネイルをフォルダにドラッグすると、そのフォルダにアイテムが移動します。
- 開いている別のワークスペースにサムネイルをドラッグすると、そのフォルダにアイテムが移動します。
- サムネイルをダブルクリックするとアイテムが表示されます。
- **Ctrl** キーを押しながらサムネイルをダブルクリックすると、アイテムがそのソース プログラムで開かれます。
- サムネイルを右クリックすると、アイテムのショートカットメニューが表示されます。
- サムネイルを [送り先] バー にドラッグすると、他のプログラムにアイテムのコピーが送信されます。

また、PaperPort デスクトップでアイテム サムネイルを使用すると、個々の PaperPort 画像アイテムや PDF 画像アイテムを簡単に結合して複数ページ アイテムにすることができます。使用しているスキャナでは各ページがそれぞれ別のアイテムになる場合、この機能が整理ツールとして役立ちます。

サムネイルが表示されないときは、ワークスペースを右クリックするか **[表示の変更]** ボタンを使用して、**[サムネイル]** を選択します。これ以外に、大きなアイコン、小さなアイコン、一覧、詳細付きの一覧を選択できます。

PaperPort ページ サムネイル

PaperPort デスクトップおよび ImageViewer の **[ページ サムネイル]** ペインには、複数ページ画像アイテムのサムネイルが表示されます。複数ページ アイテムを選択してから、**[デスクトップ]** リボンの **[サムネイル]** ボタンをクリックします。ページレベルの操作は、ファイルを開かずにすばやく行うことができます。以下を実行できます。

- サムネイルのサイズを拡大、縮小する
(すべての画像アイテムおよびすべての種類の PDF ファイル)
- 選択したページを独立した PDF ファイルとしてワークスペースにコピーする (PDF 以外のすべての画像アイテムから)
- 選択したページを独立した PDF ファイルとしてワークスペースに移動する
(読み取り専用の MAX ファイルを除く、PDF 以外のすべての画像アイテムから)
- 別々のペイン内で開かれているドキュメント間でページをコピーおよび移動する (読み取り専用の MAX ファイルを除くすべての画像アイテムから)

PaperPort デスクトップまたは PDF Viewer Plus では、PDF ファイルに対して以下の操作を実行できます。

- ページのコピー、貼り付け、切り取り、削除、および並べ替えを行う。
- ドキュメントの特定の位置に新規ページを挿入する。
- 末尾に新規ページを追加する。



セキュリティ保護された PDF のページ サムネイル表示には、パスワードの入力が必要です。

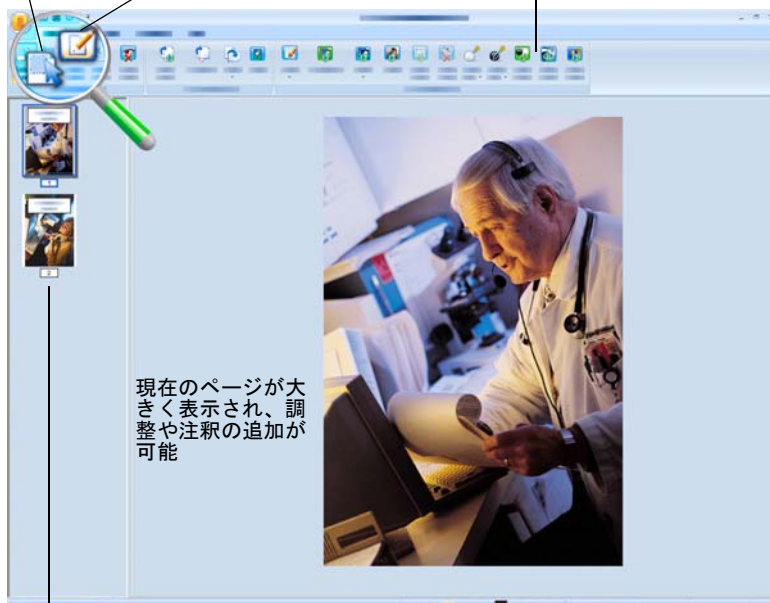
[画像表示] ウィンドウ

[画像表示] ウィンドウに画像アイテムを表示するには、デスクトップ表示の状態でアイテムのサムネイルをダブルクリックするか、[デスクトップ] リボンまたはショートカット メニューの [画面表示で開く] を選択します。デフォルトでは、PDF ファイルは画像表示画面ではなく PDF Viewer Plus で表示されます。[画像表示] ウィンドウでは、アイテムを大きく表示して修正したり注釈を付けたりできます。また、読みやすいように表示を拡大縮小できます。現在のページ画像を調整するには SET ツールを使用します。ページ レベルでドキュメントを編集するには、[ページ サムネイル] ペインを使用します。

〔範囲選択〕
ボタン

デスクトップに戻るボタン、
デフォルトでクイックアク
セス ツール バーに表示
（〔表示〕リボンにも表示）

〔ページ〕リボンの
SET ツール

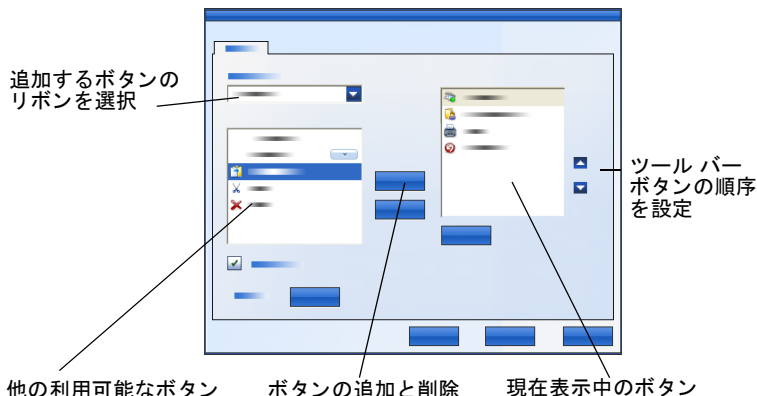


現在のページが大
きく表示され、調
整や注釈の追加が
可能

〔ページ サムネイル〕ペインにはドキュメン
トのページごとに1つのサムネイルが表示

カスタマイズ可能なクイック アクセス ツール バー

PaperPort のボタンは、機能に基づいて各リボンに配置されています。頻繁に使用するボタンは、PaperPort および ImageViewer のクイック アクセス ツール バーに置くことができます。リボン領域で右クリックし、[クイック アクセス ツール バーをカスタマイズ] を選択します。



PDF Viewer Plus

PaperPort デスクトップ上の PDF ファイルをダブルクリックすると、デフォルトでは新規の PDF Viewer Plus に表示されます。他の形式のファイルは、[送り先] バー (46 ページを参照) の PDF Viewer Plus アイコンにドラッグすることにより、コピーを PDF に変換して PDF Viewer で開くことができます。メイン画面領域に最初のページが表示されます。左側のナビゲータ パネルにはページ サムネイルまたはフォーム コントロールが表示され、画面の最下部に沿って [注釈] パネルを表示できます。右側のオーガナイザー パネルには、スタンプがあります。PDF 注釈ツールについては、38 ページを参照してください。画像のみの PDF を PDF Viewer で読み込むと、それを検索可能にするように提示されることがあります。提示されない場合は、[ツール] メニューから [検索可能な PDF の作成] を選択します。

51 ページで説明されているように、PDF Viewer Plus ではアクティブな PDF フォームに直接入力することができます。PaperPort デスクトップから開かれた PDF ファイルは、編集または注釈の追加が終了すると、すべての更新が反映された状態でここに戻ってきます。これは、ファイルを保存するか Viewer を終了したときに行われ、デスクトップに切り替えただけでは行われません。

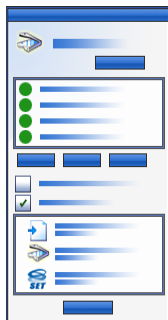
アイテムを取得する

PaperPort の表示、編集、OCR、およびファイル管理の各ツールを使用できるように画像やドキュメントを PaperPort に取り込むには、さまざまな方法があります。たとえば、以下の方法があります。

- スキャン デバイスで写真、ページ、および他の画像をスキャンします。
- 画像やドキュメントが既に含まれたフォルダを PaperPort に追加します。
- ファイルを他のプログラムからコンピュータにインポートします。
- Nuance Cloud Connector を使用して、ウェブ ストレージ サイトからファイルをダウンロードします。
- ドキュメントを他のプログラムから PaperPort デスクトップに出力します。
- 画像やドキュメントを Windows エクスプローラーや他のプログラムから PaperPort デスクトップにドラッグまたはカット アンド ペーストします。
- デジタル カメラから写真を取得します。
- Web ページの出力先を PDF ファイルにして、PaperPort で使用します。



PaperPort デスクトップにスキャンする



PaperPort は、TWAIN および WIA 対応スキャナと連携するように設計されています。

[**スキャン設定**] ボタンをクリックして [スキャンまたは写真の取り込み] ペインを表示します。スキャン プロファイルを選択します。プロファイルは標準的なスキャンング タスクに最適化されています。

その後、スキャナ固有のインターフェイスを使用するか、最良のスキャン結果が得られる

PaperPort の新しい [**スキャナ設定**] ペインを利用するかを選択します。スキャナドライバのインターフェイスを使用する場合は、[**スキャナ ダイアログ ボックスの表示**] チェック ボックスをオンにします。オフの場合、スキャンされたアイテムはアクティブなワークスペースに置かれます。

アイテム名を追加するには、キャプチャ アシスタントを起動します。スキャンが完了すると PaperPort デスクトップにアイテムが表示されます。アイテムを右クリックし、[**プロパティ**]、[**ファイルのプロパティ**]、[**概要**] の順に選択して、スキャンしたアイテムに [**アイテム名**] を追加します。

スキャンが完了すると PaperPort デスクトップにアイテムが表示されます。



TWAIN デバイスドライバと WIA デバイスドライバのどちらも使用しないスキャナの場合は、スキャナ付属のプログラムを使用してアイテムをスキャンしてください。その後、スキャンしたアイテムを PaperPort にコピーまたは移動します。スキャンの詳細については、PaperPort ヘルプを参照してください。

PaperPort では、複数のページを別々のアイテムとしても複数ページアイテムとしても簡単にスキャンできます。ADF スキャナで両面ページのスキャンとページ揃えを行うには、メッセージに従ってページを裏返し、[**裏側をスキャン**] をクリックします。ページが正しい順番でスキャンされ、ページが揃えられます。

デバイスのボタンを使用することにより、直接 PaperPort にスキャンすることもできます。Windows のコントロール パネルを開き、[**スキャナとカメラ**] を選択し、[イベント] タブでイベントを選択して PaperPort を割り当てます。または、コントロール パネルを開き、検索ボックスに「**スキャナとカメラ**」と入力してから、[**スキャナとカメラ**] をクリックします。



また、高速のネットワーク スキャナを使用してアイテムをネットワーク フォルダにスキャンしてから、そのフォルダを PaperPort に追加することもできます。



スキャナを PaperPort に合わせて セットアップする

PaperPort を使用してスキャンを行う前に、スキャナと付属のスキャナ ドライバ ソフトウェアをインストールし、正しく機能することを確認する必要があります。スキャナ ドライバ ソフトウェアは、PaperPort には付属していません。

適切にインストールされ正しく機能しているスキャナは、[**選択**] ボタンをクリックして [**利用可能なスキャナ**] ダイアログで選択することにより、そのまま PaperPort で使用できます。スキャン結果が不適切な場合は、[**スタート**] メニューをポイントし、PaperPort 14 のプログラム グループから PaperPort スキャナ セットアップ ウィザードを選択して実行します。

スキャン プロファイルを使用する

PaperPort には、標準的なスキャンング タスクに最適化されたスキャン プロファイルが付属しています。最良の結果が得られるように、白黒ドキュメント、グレースケールドキュメント、カラー ドキュメント、カラー写真、カラー検索可能 PDF ドキュメントから選択します。

各スキャン プロファイルには、以下のタブを備えた [設定] パネルがあります。

- [プロファイル]: 現在使用中のスキャン プロファイルが表示されます。
- [SET]: どの調整を自動的に行うかを決定します。
- [出力]: ファイル形式および自動的に末尾に付与されるファイル名を設定します。
- [スキャン]: モード、解像度、サイズ、向き、フィルター カラー、明るさ、コントラストなどのスキャン設定を調節します。



PaperPort に出力する

他のプログラムからアイテムを取り込むには、アイテムを PDF 画像または検索可能 PDF として PaperPort デスクトップに出力します。デフォルトは PDF 画像です。変更するには、[デスクトップ] > [オプション] > [アイテム] を使用します。これにより、スプレッドシート、ピクチャ、データベース ファイル、ワード プロセッサ ファイルなどのファイルを PaperPort デスクトップ上の PDF アイテムとして簡単に PaperPort にインポートできます。これを行うには、ソースとなるアプリケーションの [ファイル] メニュー（またはそれと同等の機能）で [PaperPort へ出力] を選択するか、[印刷] を選択してから [PaperPort Image Printer] を選択します。

ウェブ ブラウザで [印刷] を選択して、印刷形式のウェブ ページ表示を作成します。[PaperPort Image Printer] というプリンタによって PDF 画像または検索可能 PDF ファイルが作成されます。

Nuance PDF Converter Professional または PDF Create をお持ちの場合は、[ScanSoft Printer] によってノーマル PDF を作成できます。

いずれの場合も、PaperPort が実行中でない場合は起動され、現在のデスクトップに PDF ファイルが開かれます。



PaperPort フォルダを追加する



PaperPort は、アイテムを整理し他の人と共有するための使いやすいファイリング システムを備えています。

[フォルダ] ペインでは、次のことができます。

- コンピュータの既存のフォルダを [フォルダ] ペインに追加する。
- 新規フォルダ、マップされたネットワーク ドライブ、外部接続デバイス上のフォルダを作成する。

初期状態では、[フォルダ] ペインには、PaperPort を初めて使用するとき役立つフォルダのセットが表示されます。これらのフォルダは、いつでも移動したり削除することができます。[カスタム インストール] を選択すると、その際に独自のフォルダを追加できます。

既にコンピュータに存在するフォルダは、ネットワーク フォルダおよびコンピュータに接続された外部デバイスのフォルダを含め、いつでも後から [フォルダ] ペインに追加することができます。これにより、フォルダ内のドキュメントを PaperPort で使用することができます。

PaperPort フォルダの追加や使用の詳細については、PaperPort ヘルプを参照してください。



カメラから写真をインポートする

デジタル写真を PaperPort デスクトップ上に取り込むには、まずカメラを接続します。デバイスがドライブとして表示されたら、ファイルの取り込みを開始できます。カメラがこの種類の操作をサポートしていない場合でもカメラのドライバが適切にインストールされていれば、TWAIN または WIA インターフェイスが表示され、画像をインポートできます。



カメラ内の画像をそのまま編集しないでください。意図したとおりの結果が最初の編集によって得られるとは限らないためです。代わりに、ファイルを PaperPort に移動し、SET ツールを使用して調整します。

画像の修正



[画像表示] ウィンドウに画像アイテムを表示すると、画像の調節や改善に使用できるツールが表示されます。

たとえば、スキャンしたページの傾きを補正したり、露光不足で暗すぎる写真を明るくすることができます。さらに、カラー写真の色を調整したり、ドキュメント ページから「汚れ」を取り除いたり、ぼやけた画像を鮮明することができます。

また、アイテムの回転、ノイズの除去、線の調整、赤目の除去、画像の一部のトリミングもできます。

一部の SET ツールは写真または画像の調整を主な目的として設計されていますが、それ以外（下の図で背景がグレーになっているものは、テキストを含むアイテムを OCR（光学式文字認識）向けに準備するためのものです。

[画像表示] ウィンドウの [ページ] リボンには、現在のページを修正する SET ツールがあります。これらのツールの一部は PaperPort デスクトップでも使用可能であり、選択されたアイテムのすべてのページで使用することができます。

SET (Scanner Enhancement Technology) ツール

どこで利用できるかを以下の表に示します。

P = 画像表示画面または ImageViewer ([ページ] リボン) で、現在のページを変更するためにのみ使用可能。

PI = PaperPort デスクトップ ([アイテム] リボン) でも、選択されたアイテムのすべてのページを変更するために使用可能。

PM = PaperPort デスクトップのショートカット メニューでも、選択されたアイテムのすべてのページを変更するために使用可能。

PS = スキャニング プロファイルでも、取り込んだすべての画像を変更するために使用可能。



範囲選択
(P)

[**領域を選択**] ツールを使用すると画像の一部を選択することができ、この部分を [ページ] リボンまたはショートカット メニューのコマンドを使用して切り取り、コピー、または削除できます。画像の中で、[**赤目の除去**]、[**内側を消去**]、または [**外側を消去**] ツールを使用して除去する部分を選択する場合に使用します。



回転
(PI/PS)

[**回転**] ツールをクリックすると、選択したページまたはアイテムを左または右に 90 度、または 180 度回転することができます。



画像の傾き
補正

スキャンしたドキュメントが傾いていることがあります。傾きが生じたときは、[**傾き補正**] ツール (P) や [**自動傾き補正**] ツール (PI/PS) を使用して調節できます。白黒画像ファイルに含まれるテキストは、線をまっすぐにするとも OCR 結果が向上します。



自動調整
(PI/PS)

[自動調整]機能では、画像の明るさ、コントラスト、色、濃淡を調整できます。PaperPort によって画像が分析され、画像の不適切な箇所が修正されます。



画像の
調整
(P)

[調整]ツールを使用して、手動で画像を調節することもできます。35 ページに示すように明るさ、コントラスト、色、濃淡の各値を変化させて、9 つの候補から最良の結果を選択できます。



画像の
鮮明化
(P)

ぼやけたピクチャの鮮明度を調整したり、特殊効果として鮮明な画像をばかすには、**[鮮明化]**ツールを選択します。



赤目の
除去
(P)

赤目の除去ツールを使用すると、写真の選択範囲から「赤目」効果を取り除くことができます。微光の中で、またはフラッシュを使用して人物や動物の写真を撮影する際に発生する赤目効果を除去します。



画像の
一部の
除去

使用する部分を選択ツールで定義し、残りの部分を**[トリミング]**ツールで除去します。ポインタを使って描いた画像領域を消去するには、**[消しゴム]**ツールを選択します。



サイズ変更
(PI)

画像またはアイテムのサイズを変更したり、その解像度を変更します（色の変換、反転も可能）。



ノイズの
除去
(PM)

スキャンされた画像にドットやスペckルが含まれていることがあります。**[ノイズの除去]**ツールは、そのような「汚れ」を自動的に見つけてページから除去します。これを使用することにより、白黒画像での OCR 結果を向上させることができます。

	線の補強 (PM)	[線の補強] ツール (白黒画像用) は、表やフォーム上の線を濃くし、途切れた線はつなげて、濃いまっすぐな線にします。このツールを使うと、よりよい認識結果が得られます。
	外側を 消去 (P)	このツールを使用すると、ページ端から影やスポットを消して、OCR 性能を向上させることができます。[内側を消去] ツール (P) もあります。
	色の反転	このツールを使用すると、画像の色の値を反転することができます。(PI/PM)
	色の変換	カラー画像をグレースケール、ハーフトーン、または白黒に変更します。(PI/PM)
	パンチ穴の除 去	ページの端にある穴のマークを除去して、背景色で置き換えます。(PI/PM/PS)
	自動トリミン グ	このツールは、ページ上の空白領域を検出し、指定したピクセル数の余白が残るように自動的にページをトリミングします。 (PI/PM)
	黒い罫線の消 去	このツールはページ余白にあるスキヤンの影を除去します。(PI/PM/PS)
	斑点除去	このツールは、選択した斑点除去タイプを使用して、白黒画像の汚れを除去します。 (PI/PM/PS)
	ホワイト ポ イントの 設定 (P)	このツールをクリックしてから、画像の中で明るい色の部分をクリックすると、それがホワイト ポイントになります。詳細については、次を参照してください。



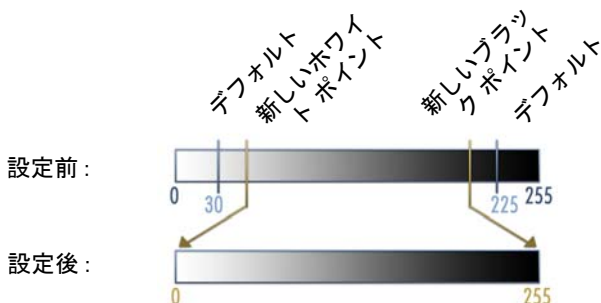
ブラック ポイントの設定 (P) このツールをクリックしてから、画像の中で暗い色の部分をクリックすると、それがブラック ポイントになります。新たにホワイト ポイントおよびブラック ポイントとして選択された色がステータス バー上に表示されます。



現在のホワイト ポイント および ブラック ポイント および ホワイト ポイント および 現在の画像に適用されます。結果が不適切な場合は、[元に戻す]を行ってから新しい値を設定します。

ブラック ポイントとホワイト ポイントを変更すると、暗い領域と露光オーバーの領域を除去することによって画質を向上させることができます。新たにホワイト ポイントとして選択した色よりも明るいすべての色が白になります。新たにブラック ポイントとして選択した色よりも暗いすべての色が黒になります。

この機能の標準的な使い方は、OCR を実行するドキュメント内にある、影のかかったグレーの背景を除去することです。背景の中で周囲よりも暗いグレーのピクセルを1つ選択して、それをホワイト ポイントとして適用します。すると、背景は白色になります。カラー写真でブラック ポイントおよびホワイト ポイントを変更すると、通常はそのコントラストが増えますが、色調も変化する可能性があります。



新しいブラック ポイントおよびホワイト ポイントは、説明した方法で各画像に個別に適用できます。指定されたスキャン プロファイルを使用してスキャンされるすべての新しいページに、自動調整として適用することもできます。

〔色の変換〕の選択



カラー グレースケール ハーフトーン 白黒

手動による画像調整

画像表示画面の〔ページ〕リボンで〔調整〕を選択すると、写真について 9 種類の候補が表示されます。明るさとコントラスト、色、または濃淡を調整してから、目的の画像をダブルクリックします。画像が中央に配置されて、新しい元の画像になります。最初の元の画像はそのまま残り、リセットすることができます。

複数の画像を編集する

複数アイテムを 1 つのグループとして処理する機能は、バッチ処理と呼ばれます。PaperPort は、1 回の処理ですばやく複数の画像アイテムを調整、変更、または回転できるバッチ処理機能を備えています。

デスクトップ上の 1 つまたは複数の画像アイテムを選択してから、〔アイテム〕リボンで目的のコマンドを選択します。詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。



ページへの注釈の追加

PaperPort には一連の注釈ツールがあり、スキャンしたドキュメントと共に保存する必要がある情報を、そのドキュメントに付加することができます。さまざまな PDF 注釈ツールを活用するには、提供されている Nuance PDF 製品を使用します。

他のすべての画像アイテムの場合、注釈を付けるには画像表示画面または ImageViewer を使用する必要がありますが、これらのファイルはすべて [送り先] バーの Nuance PDF 製品アイコンにドラッグすることで PDF 画像または検索可能 PDF に変換することができます、そこで注釈を付けるなどの編集を行うことができます。

PDF ファイル上の注釈は編集できます。必要に応じて、いつでも注釈やテキスト内容を再配置、変更、または削除できます。JPEG や Windows のビットマップ ファイルなど他の形式の画像アイテムでは、アイテムの保存時に注釈が画像に固定されます。注釈を付けることができないアイテム タイプでは、注釈ツールが自動的に無効になります。

PaperPort の注釈ツールでは、画像アイテムにメモやテキストを追加したり、テキストにマーカーを付けたり、線や矢印を描いたり、ピクチャを貼り付けることができます。

PDF 画像または検索可能 PDF 形式を使用すると、PaperPort を持っていない人に注釈付きのドキュメントを簡単に送ることができます。受信者は受け取った電子メールの添付ファイルをダブルクリックするだけで、入力したとおりに注釈が反映されたドキュメントをデフォルトの PDF 表示ソフトで表示できます。

注釈ツール

[画像表示] ウィンドウで画像アイテムを表示しているときはいつでも [注釈] リボンで注釈ツールを選択できます。[注釈設定] グループのコマンドを使用すると、今後そのツールで作成される注釈のプロパティを変更できます。

これは既存の注釈には影響を及ぼしません。すべての注釈ツールをオフにするには、別のボタンをクリックします。通常は、[注釈の選択] ツールが最適です。これらのツールの詳細については、ヘルプを参照してください。

ここでは、PDF Viewer Plus で PDF ファイルに対して使用可能な注釈ツールの詳細について説明します。

PDF Viewer Plus では、以下のコマンドを使用します。



ハンド

このツールを使用して注釈をクリックすると、ページ上で注釈の移動、切り取り、コピー、またはサイズ変更ができます。メモやテキスト ボックスをダブルクリックして、そのテキストを編集できます。選択した注釈のステータスまたはプロパティのみを変更するには、注釈を右クリックします。



注

リマインダを自分用に設定する場合は、**メモ** ツールを選択してサイズ変更可能なメモを追加します。これは付箋にメモを書いて書類に貼り付けることに似ています。メモは、縮小してアイコンにすることができます。右クリックすると、メモのプロパティを表示できます。メモを再度開くにはダブルクリックします。



テキスト
ボックス

テキスト ツールを使用して、画像にテキストラベルを簡単に追加できます。このツールを選択して入力したテキストのプロパティは、**[編集]>[環境設定]>[コメント]**で設定できます。



マーカー

紙の上でマーカー ペンを使用するように**マーカー** ツールを使用して、ページ上またはテキスト ボックス内で選択したテキストにマーカーを付けることができます。



鉛筆

鉛筆 ツールでは、フリーハンドの線をページに描くことができます。



直線

直線 ツールを選択すると、直線を描くことができます。右クリックしてプロパティを選択すると、先端を矢印にするなどの形式を指定できます。



スタンプ

スタンプ ツールを使用すると、用意されているスタンプ、または自由に選んだビットマップ画像をゴム印のようにページに貼り付けることができます。



アイテムの保護

PDF Viewer Plus では、PDF ファイル (1.7 までの形式をサポート) のセキュリティ レベルを [ドキュメント] メニューで調整することができます。新しい PDF を既存の PDF から作成する場合 (たとえば、ページのサムネイルをワークスペースにコピーすることによって、または PDF アイテムを複製することによって)、そのセキュリティ設定は元のセキュリティ設定と同じです。新しく作成された空白の PDF ファイルは、セキュリティ設定なしで生成されますが、作成後にセキュリティ設定を追加することができます。

このプログラムには、2 種類のパスワードがあります。**オープンパスワード**は、ドキュメントへのアクセスを制限します。ドキュメントを開くには、要求に応じてパスワードを入力する必要があります。**パーミッションパスワード**を使用すると、保護されているドキュメントを開いて、ドキュメントの使用法を定義することができます。指定されていない場合は、制限なくファイルを使用できます。



アイテムのファイル管理

PaperPort でアイテムを整理するコツは、適切なフォルダにアイテムを仕分けることです。あるフォルダから別のフォルダに、また PaperPort デスクトップから任意のフォルダにアイテムをドラッグ アンド ドロップできます。アイテムを後で検索しやすいように検索条件を指定できます。各アイテムの名前は、サムネイル表示のサムネイルの下に表示されます。



[フォルダ マネージャ] ダイアログ ボックスを使用すると、PaperPort フォルダの追加、削除、移動、および名前変更ができます。アイテムを整理しやすいように、フォルダ アイコンの色を変更できます。また、

PaperPort フォルダ構造で表示できるすべてのフォルダは、Windows エクスプローラーでも追加、削除、移動、名前変更できます。これらの変更は自動的に PaperPort に反映されます。フォルダ ペインでは、サブフォルダやその内容を他のサブフォルダや PaperPort フォルダにドラッグ アンド ドロップ、コピー、または移動できます。また、[共有およびセキュリティ] の調整は、各フォルダのショートカット メニューで直接行うことができます。



[戻る] ボタンを使用すると、訪れた順番とは逆の順番でフォルダの履歴を 1 つずつ簡単にたどることができます。これは Internet Explorer の [戻る] と同様に機能し、両方のワークスペースでそれぞれ独立してすばやく逆順に移動できます。



アイテムへの検索条件の追加

PaperPort アイテムには、ドキュメント情報を追加することができます。アイテムを右クリックし、[プロパティ] を選択します。PDF ファイルまたは読み取り専用の MAX ファイルでは、既存のドキュメント情報がある場合、それが表示されます。他のファイル形式では、アイテム名以外は表示されません。[ファイルのプロパティ] ボタンをクリックし、[概要] タブを選択します。必要に応じて [タイトル]、[件名]、[作成者]、[キーワード]、および [コメント] を入力します。

この情報は、PaperPort だけでなくシステムにも保存され、そこで表示および変更することができます。システムの検索機能では、このデータにアクセスできる可能性があります。PaperPort の All-in-One Search では、読み取り専用の MAX ファイルおよび PDF ファイルに入力されているドキュメント情報のみを検索できます。読み取り専用の MAX ファイルでは、この情報はあらかじめ存在していることが必要です。このタイプのファイルは、変更したり新しい情報を追加することはできません。

PDF ファイルのドキュメント情報は、PDF Viewer Plus または PDF Converter Professional の [ドキュメント] メニューにある [ドキュメント プロパティ] を使用して追加できます。

これは、PaperPort で PDF Viewer Plus を終了するとき、または [ファイル] > [保存] を選択したときに、ファイルに保存されます。PaperPort デスクトップに切り替えただけでは保存されません。

読み取り専用の MAX または XPS (またはその他の) ファイルに検索可能なドキュメント情報を追加するには、ファイルを PDF に変換してから追加することをお勧めします。



アイテムの検索

PaperPort は、PaperPort アイテムの検索を容易にする機能を備えています。PaperPort デスクトップのサムネイル全体を参照すると、アイテムをすばやく見つけることができます。

フォルダやアイテムの数が多い場合は、PaperPort の All-in-One Search の強力な機能を利用できます。

PDF ファイルおよび読み取り専用の MAX ファイルのドキュメント情報を表示するには、[プロパティ] ペインを開きます。このテキストは、All-in-One Search で扱うことができます。検索を実行するには、以下の手順を実行します。

1. [All-in-One Search] パネルを開きます。
2. 最初に見つけたファイルだけを表示するか、ファイル情報に検索テキストが含まれるすべてファイルの一覧を表示するかを決定します。
3. 検索範囲として以下のいずれかを定義します: **現在のフォルダ**、**現在のフォルダとそのサブフォルダ**、**PaperPort のすべてフォルダ**。
4. 検索条件を [名前]、[作成者]、[キーワード] テキストボックスに入力します。通常は 1 つの単語を入力しますが、テキストの一部分や複数の単語を入力することもできます (下記を参照)。

5. 作成者のフィールドにある作成者名だけを検索する場合などは、パネルを拡張し、チェックマークを使用して情報フィールドを除外します。
6. **[検索]**をクリックします。

最初に見つかったものだけを表示するように選択した場合は、検索テキストを含む最初に見つかったファイルがハイライト表示されます。次に見つかったファイルに移動するには、[アイテム] リボンの **[次を検索]** を使用します。すべて表示するように選択した場合は、見つかったすべてアイテムの一覧が表示されます。

検索カテゴリの選択：

- **名前：**アイテム名。これはファイル名とは限りません。すべてのアイテムは、PaperPort の [プロパティ] ペインまたは [アイテム プロパティ] ダイアログ ボックスでの入力に基づく名前を持つことができます。
- **作成者：**PDF Viewer Plus の [ドキュメント プロパティ] での定義に基づきます。
- **キーワード：**PDF Viewer Plus の [ドキュメント プロパティ] での定義に基づきます。
- **件名 / コメント：**PDF Viewer Plus の [件名] での定義に基づきます。
- **注釈：**PDF に追加された、または以前のバージョンの PaperPort によって MAX ファイルに追加されたメモまたはテキスト ボックスの内容。

検索が実行されるしくみ：

この検索では大文字と小文字の違いは無視されます。したがって、'dns' では 'DNS' も、'paperport' では 'PaperPort' も検索されます。単語としての一致を検索する機能はないため、'ns' を検索すると 'DNS' で、'for' を検索すると 'information' で停止します。複数の単語を入力すると、それぞれが独立して検索されます。指定した単語のいずれかを含むすべてのファイルが検索結果に含まれます。複数の単語から構成される文字列を検索するには、"results are" のように引用符で囲みます。

検索結果の表示方法：

検索が完了すると結果が表示され、各結果が表の 1 つの行になります。いずれかを選択すると、見つかったファイルの情報が一覧の上に表示されます。[**テキストの表示**] ボタンをクリックすると、選択したアイテムからテキストが抽出されます。[**テキストのコピー**] ボタンをクリックすると、このテキストがクリップボードに置かれます。結果のファイルを右クリックし、[**開く**] を選択すると、ドキュメントがそれに関連付けられているアプリケーションで開きます。[**1 つ上のフォルダを開く**] では、選択されたファイルの入っているフォルダに切り替わります。

PDF の内容から単語を検索する：

検索可能 PDF およびノーマル PDF ファイルは、PDF Viewer Plus で検索できます。PaperPort では、PDF 画像ファイルおよび他の画像アイテムから検索可能 PDF ファイルを作成できます。これにより、Nuance PDF Converter、Windows デスクトップ サーチ、Google などの他のプログラムがこれらのファイルを検索できるようになります。38 ページの「PDF ドキュメントを作成する」を参照してください。

他のファイル内の単語を検索する：

[プロパティ] ペインの [テキストの表示] ボタンを使用して、読み取り専用の MAX ファイル、XPS ファイル、PDF 画像ファイルなどの画像アイテムに対して PaperPort OCR を実行することができます。このテキストをクリップボードにコピーし、ワードプロセッサプログラムに貼り付けて、検索することができます。これよりもよいソリューションは、OmniPage をお持ちならばそれを使用することです。[送り先] バーにある OmniPage アイコンにアイテムをドラッグします。OCR 結果の精度が向上し、ドキュメントの書式が維持されます。

ファイルの共有

PaperPort は、ファイル、画像、ドキュメントを友人や仲間、同僚たちと容易に共有するためのツールを多数備えています。

これらのツールはプログラムに組み込まれており、必要なときにいつでもアクセスできるようにさまざまなリボンに用意されています。

アイテムを他のユーザーと共有するために、PaperPort では以下のことを簡単に実行できます。



PaperPort の [送り先] バーに表示されている任意の電子メール プログラムにアイテムをドラッグすると、そのアイテムを他の人に電子メールで送信できます。



ドキュメント配布の業界標準として広く普及しているファイル共有形式である PDF 形式にアイテムをスキャンまたは変換します。



フォルダを PaperPort の [フォルダ] ペインに追加することにより、LAN や WAN 上にある共有フォルダにアクセスします。



フォルダのショートカット メニューから直接、その共有設定とセキュリティ設定にアクセスします。



Microsoft Live SkyDrive™、GoogleDocs™、Box.net™ などのさまざまなクラウド サービスや、FTP サイトなどにアクセスします。



PaperPort では、すべての重要な業務ドキュメントの集中的な保管場所となる共有フォルダを、サーバー、Web ストレージ サイト、PC 上に簡単に設定できます。

PaperPort の各クライアントは共有フォルダに接続し、PaperPort のドキュメント管理機能や書類処理ツールを使用してドキュメント

を即座に見つけて使用できます。

さらに、アイテムをさまざまなプログラムで共用できるよう、一般的な出力形式に変換できます。対応するすべてのプログラム リンクの一覧を確認するには、Nuance ウェブ サイト

<http://www.nuance.com> の PaperPort にアクセスしてください。

クラウドへの接続

PaperPort 14 では、クラウド コンピューティングのサポートを開始しました - Web ベースのストレージ サイトで、プログラム、ドキュメント、およびデータにアクセスし、作業することができます。



Nuance Cloud Connector

これは自己完結プログラムであり、PaperPort のすべてのシリーズに付属していますが、インストールは必須ではありません。インストールした場合は、Windows の [スタート] メニューの [Nuance Cloud Connector] グループから起動できます。このプログラムの機能は、一般的なクラウド内ストレージ サイト (Microsoft Live SkyDrive™、GoogleDocs™、Box.net™) や複数の FTP サイトなどにアクセスできるようにすることです。ユーザーのファイル システムとクラウド サイトとを接続するインターフェイスとなるほか、パスワードとログインのデータ管理の機能もあります。



Evernote Connector

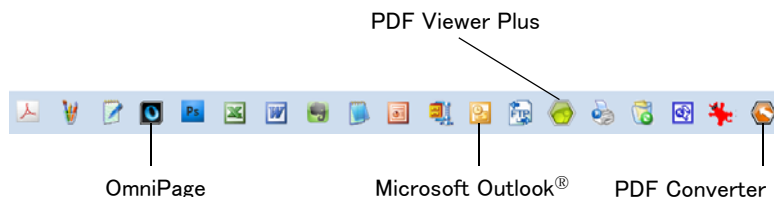
これは PaperPort 14 に含まれる新しいコネクタで、[送り先] バーのアイコンとして表示されます。ファイルをこのアイコンにドラッグすると、ファイルのコピーが Evernote ストレージ サイトに転送されます。[送り先] のオプションは、アクセス データを指定するために使用できます。

他のプログラムにアイテムを送信する

ドラッグ アンド ドロップ機能を使うと、任意のプログラムで簡単にファイルを開くことができます。ファイルを選択し、PaperPort デスクトップの下部にある [送り先] バーのプログラム アイコンにドロップします。

電子メールや FAX の送信など日常のオフィス ワークも短時間で処理できます。[送り先] バーでは、スキャンしたドキュメントを他のアプリケーションで使用しやすいように、受け取ったアプリケーションが読み取れる形式にドキュメントが自動変換されます。たとえば、PaperPort の [送り先] バーにある Microsoft

Word のリンクに手紙のスキャン画像をドロップすると、開こうとしているアプリケーションが必要とするファイルが画像ではなくテキストであることを PaperPort が認識します。PaperPort によって OCR が実行され、静的な画像ファイルではなく編集可能なテキストが Word に送信されます。



ワード プロセッサ、スプレッドシート、FAX、インターネット電子メール、グラフィックス、光学式文字認識 (OCR) プログラムなど、さまざまなプログラムがサポートされています。

[送り先] バーのプログラム リンクでは、必要な変換が行われ、アイテムを送信するためのオプションが必要に応じて表示されます。



PaperPort で OmniPage を使用する

PaperPort と OmniPage がインストールされているコンピュータの場合、OmniPage の OCR サービスを利用できるので、PaperPort の機能が強化されます。

テキスト アプリケーションの PaperPort リンクを右クリックし、[送り先オプション] を選択し、OCR パッケージとして OmniPage を選択することにより、通常利用している PaperPort OCR の代わりに OmniPage を OCR パッケージとして選択できます。

OmniPage を使用すると、以下のことが可能です。

- 紙媒体を、コンピュータで利用できる Microsoft Office ドキュメントに瞬時に変換する。

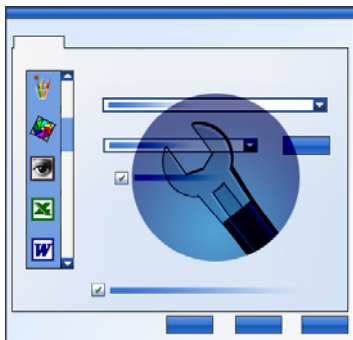
- レイアウトを維持したまま、PDF ファイルを編集可能なドキュメントに変換する。
- ネットワーク MFP (複合機) やスキャナからの画像ファイルを自動的に処理する。
- ドキュメントをスキャンして XML、PDF、TIFF などに変換する。
- 電子メール、ウェブ、Cloud Connector、XML、電子ブックを使用してドキュメントを共有する。
- OmniPage のワークフロー  を使用して、ドキュメントの変換を簡単な操作で効果的に制御する。

[送り先] バーのカスタマイズ

[送り先] バーのプログラム アイコンの表示は、さまざまな方法で変更できます。具体的には、プログラムを追加したり、プログラム アイコンを削除したり並べ替えることができます。

詳細については、PaperPort ヘルプを参照してください。

[送り先オプション] の調整



[送り先オプション] では、[送り先] バーで各プログラムをどのように使用するかを指定できます。たとえば、PaperPort がアイテムを保存する際のファイル形式を指定できます。

ドキュメントを積み重ねる

一連の PDF ファイルを 1 つの PDF に積み重ねてまとめることができます。複数ページの PDF ファイルについて、現在のページまたはすべてのページの積み重ね解除を行うことができます。すべてのページの積み重ねを解除すると、単独ページの PDF ファイルのセットが得られます。これらは、末尾に付けられる一連の数値によって一意に識別されます。積み重ねおよび積み重ね解除を行うと、元の PDF ファイルまたはページは失われます。ファイルの積み重ねを実行するには、ドラッグ アンド ドロップを使用するか、目的のファイルを選択して右クリックし、[**積み重ね**] を選択します。同様に、PDF ファイルの積み重ねを解除するにはショートカット メニューを使用します。

ドキュメントを結合する

ドキュメントは、結合することによってまとめることができます。選択するファイルは、1 つのフォルダに入れて、積み重ねる順番に選択する必要があります。[**アイテムの結合**] の隣にある矢印をクリックし、使用可能な組み合わせの 1 つを選択します。

- **PDF の積み重ねへ結合**：元のページはそれぞれ、サイズ変更されずに PDF の 1 つのページになります。
- **マルチ PDF へ結合し、フィットするようサイズ変更**：これは、結合されるアイテムをサイズ変更して、常に元の 4 ページを PDF の 1 ページに配置します。
- **マルチ PDF へ結合し、元のサイズを維持する**：これは、できる限り多くの元のページを各 PDF ページに配置します。
- **サムネイル PDF ページに結合**：これは、すべてのアイテムページのサムネイルを作成し、できる限り多くを 1 つの PDF ページにフィットさせます。

元のアイテムは、元のファイルの種類のまま残されます。

画像をテキストに変換する

サムネイルをワード プロセッサ プログラムにドラッグ アンド ドロップするだけで、スキャンしたドキュメントをテキストに変換できます。スキャンしたドキュメントが PaperPort の OCR ソフトウェアで自動的に処理され、ワード プロセッサ プログラムが起動します。その後、スキャンしたテキストがドキュメントに読み込まれて編集できるようになります。PaperPort では、画像アイテムの一部からテキストをコピーして、テキスト編集、ワード プロセッサ、スプレッドシートなどのプログラムで 사용할こともできます。OCR ソフトウェアがテキストを処理し、Windows のクリップボードにテキストをコピーします。テキストを挿入するプログラムを開き、貼り付けを使用してテキストをファイルに貼り付けます。

フォームへの記入



PDF 製品を使用して、アクティブな PDF フォームに記入することができます。ハンド ツールを選択し、**Tab** または矢印キーでフォーム フィールド間を移動して、選択したりテキストを入力したりします。対応しているすべてのコントロールの種類の一覧については、ヘルプおよび使い方ガイドをご確認ください。

データを入力してフォームの記入が完了したら PaperPort デスクトップにフォームを保存します。これにより、データが記入されたフォーム全体を印刷したり電子メールで送信することができます。

あらかじめ印刷済みのフォームがあれば、[印刷] ダイアログボックスの [フォームのフィールドのみ] を選択して直接フォーム上に回答を印刷できます。

PDF ファイルのサポート

PDF の種類



PDF (Portable Document Format) ファイルは、3 種類の形式（一般にフレーバと呼ばれます）に分けられます。

- PDF 画像
- PDF 検索可能画像
- PDF 形式のテキストおよびグラフィックス (PDF ノーマル)

PDF ファイルを開く

PaperPort では、3 種類すべての PDF ファイルを開いて表示することができます。PDF ファイルは、デフォルトでは PDF Viewer Plus または（使用可能な場合は）PDF Converter Professional で開かれます。ImageViewer では PDF 画像として開かれます。

保護されているファイルにアクセスするには、正しいパスワードを指定します。パーミッション パスワードを指定すると、セキュリティ制限が適用され、また、セキュリティ制限を変更することができます。

PDF ページの操作

PaperPort では、ある PDF ファイルから別の PDF ファイルにページを挿入または付加したり、一連の PDF ファイルを 1 つの PDF ファイルに積み重ねることができます。

フレーバの異なる複数のページを積み重ねると、作成されるファイルはプログラムが決定した 1 種類のフレーバになります。複数ページの PDF ファイルは、1 ページまたはすべてのページの積み重ねを解除して、1 ページにつき 1 つの PDF ファイルを作成することができます。

PDF ファイルにアイテムを結合する

さまざまな画像アイテムを結合して、対象とする 1 つの PDF にまとめることができます。結合されたアイテムはすべて元の場所に残り、ファイル タイプも維持されます。

PDF ファイルに注釈を付ける

メモ、ハイライト、矢印などのグラフィック アイテムを、注釈としてすべての種類の PDF ページに追加することができます。

これらは実際の PDF ページの一部となりますが、別のレイヤーに存在します。したがって、PaperPort などの PDF 表示および編集プログラムで表示、移動、変更、および削除することが可能です。注釈は、ImageViewer またはお使いの PDF 製品で追加することができます。

PDF ファイルを変更する

SET ツールを使用すると、PDF ページの外観を向上させたり、テキスト認識 (OCR) の精度が高くなるように準備することができます。30 ページおよびヘルプ トピック「ページと画像の調整について」を参照してください。

PDF ファイルに含まれる実際のテキスト コンテンツ、またはその色や属性を変更するには、Nuance PDF Converter などの PDF エディタが必要です。

PDF ファイルからテキストを抽出する

PDF ファイルのショートカット メニューから [**テキストのコピー**] コマンドを使用すると、テキスト全体を抽出してクリップボードにプレーン テキストとして配置でき、必要に応じて OCR を実行できます。選択した PDF ファイルの [**プロパティ**] ペインで [**テキストの表示**] コマンドを実行しても同様ですが、テキストが PaperPort ウィンドウに表示されます。テキストのブロックを選択し、クリップボードにコピーします。[送り先] バーにあるワード プロセッサ プログラムに PDF ファイルを送信します。これにより、必要に応じて OCR を使用して、指定したレベルの書式を備えた編集可能なテキストが得られます。ヘルプ トピック「スキャンしたドキュメントをテキストに変換するには」およびターゲット プログラムの「出力オプション」を参照してください。

検索用に PDF ファイルにドキュメント情報を追加する

これは、Nuance PDF 製品で実行します。ヘルプ トピック「PaperPort 画像と PDF ファイルにプロパティを割り当てる」および「アイテム プロパティ」を参照してください。

PDF ファイルを他のファイル タイプで保存する

PDF ファイルは、さまざまな画像ファイル タイプおよび XPS ファイルに保存できます。ヘルプ トピック「*画像アイテムの保存について*」を参照してください。複数ページの PDF からは、複数ページのファイル タイプを選択すると 1 つのファイルが作成され、それ以外の場合は PDF の各ページが独立したファイルになります。

PDF ファイルを Windows デスクトップ サーチに追加する

[**デスクトップ**] > [**オプション**] > [**詳細設定**] を選択し、Windows デスクトップ サーチで PDF ファイルを処理するためのエージェントとして PaperPort を有効または無効にします。

詳細については、ヘルプ トピック「*PDF ファイルについて*」および「*PDF ファイルの作成について*」を参照してください。

PDF ドキュメントを作成する

PDF 画像ファイルを他のアプリケーションから作成する

[**デスクトップ**] > [**オプション**] > [**アイテム**] で、[PDF 画像] または [PDF 検索可能画像] のいずれかを選択します。その後、適切なアプリケーションでソース ファイルを開き、通常は [ファイル] メニューにある [印刷] を選択します。[PaperPort Image Printer] を選択し、白黒かカラーかなど、印刷の設定を行います。ヘルプ トピック「*PaperPort 印刷ドライバについて*」および「*他のアプリケーションから PDF への出力*」を参照してください。

スキャンから検索可能 PDF ファイルを作成する

スキャンング プロファイルを開き、PDF ファイルのタイプを [出力] パネルで設定するか、用意されている [検索可能カラー PDF ドキュメント] プロファイルを選択します。ヘルプ トピック「*スキャン プロファイルを変更する*」を参照してください。プロファイルを使用して PDF ファイルを生成します。

既存の PDF、XPS、または画像アイテムから PDF を作成する

PDF ファイルを右クリックし、[アイテムの複製]、[現在のページの複製]、または[名前を付けて保存]を選択します。ソース PDF の種類は、コピーでも維持されます。画像アイテムを右クリックし、[PDF として複製]または[名前を付けて保存]を選択します。XPS ファイルを PDF Viewer Plus で開くためにファイルをダブルクリックすると、コピーが PDF ファイルとして自動的に作成され、このファイルを変更および保存することができます。

PaperPort のアンインストール

完全にアンインストールするには、PaperPort の 3 つのコンポーネントを 1 つずつ削除してください（順序は自由です）。コンポーネントは、PaperPort 14 SE、PaperPort 画像プリンタ、および PDF Viewer Plus です。画像プリンタや PDF Viewer だけを削除すると、PaperPort が正しく機能しなくなります。

付随する他のプログラムのうち、PaperPort とは独立してアンインストールすることも残すこともできるものは、Nuance Cloud Connector です。

PaperPort およびその主要コンポーネントをアンインストールするには：

1. コントロール パネルから、[プログラムの追加と削除]（または [プログラムと機能]）を選択します。
2. [Nuance PaperPort 14] を選択します。
3. [削除] をクリックしてプログラムをアンインストールします。
4. 同じ操作を、画像プリンタおよび PDF Viewer Plus に対して行います。
5. 削除を完了するには、コンピュータの再起動が必要です。

商標および著作権の表示

Nuance、Nuance のロゴ、*All-in-One Search*、*OmniPage*、*PaperPort*、*Productivity Without Boundaries*、*ScanSoft*、および *SET* は、米国およびその他の国における Nuance Communications, Inc. の登録商標または商標です。Microsoft、Excel、MSN、Outlook、PowerPoint、および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその関連子会社の商標または登録商標です。Adobe、Acrobat、および Photoshop は、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。Google は、Google, Inc. の商標です。WordPerfect は、カナダ、米国および / またはその他の国の Corel Corporation および / またはその関連会社の商標または登録商標です。Verity のロゴは、米国およびその他の国における Verity, Inc. の商標または登録商標です。

Outside In ® Viewer Technology © copyright 1998 Stellent Chicago, Inc. All rights reserved. ヘルプ システムの法的セクションに詳述されているとおり、この製品の単語検証、スペル処理、およびハイフン処理部分は、部分的に Franklin Electronic Publishers, Inc. の Proximity Linguistic Technology に基づいています。All rights reserved. 本製品は Kakadu ソフトウェアを使用して開発され、その一部は Independent JPEG Group の作業成果に基づいています。本ソフトウェアの一部は Zlib Compression Library を利用しており、また、Colosseum Builders の作業成果に基づいています。

MSXML バイナリ ファイル。本ソフトウェアの使用には、MSDN CODE GALLERY BINARY LICENSE (<http://code.msdn.microsoft.com/MSXML/Project/License.aspx>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

Microsoft:HD Photo 1.0。本ソフトウェアの使用には、“HD Photo” 仕様に関する Microsoft Corporation Technical Documentation License Agreement (<http://msdn.microsoft.com/en-us/windows/hardware/gg463400.aspx>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

Microsoft CAPICOM 2 - インストールおよびユーザーの権利。お客様は、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、または Windows Server 2003 が有効なライセンスの元で実行されているデバイスにおいて、ソフトウェアの任意の数のコピーをインストールして使用できます。

FreeType 2.3.1. The FreeType Project is copyright (c) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved. ただしライセンス (<http://freetype.sourceforge.net/index2.html>) で指定されているものを除く。

Zlib.Zlib のソース コード ファイルは、ライセンサーによって Jean-loup Gailly および Mark Adler から www.Zlib.net において取得されました。Copyright (c) 1995-2010 Jean-loup Gailly and Mark Adler.Zlib の使用には、ライセンス (http://www.zlib.net/zlib_license.html) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

Independent JPEG Group ソフトウェア。Copyright (c) 1991-1998 by Thomas G. Lane. Independent JPEG Group のソフトウェアの使用には、ライセンス (<http://www.xstandard.com/1D1B6C13-7BB6-4FA8-A1F9-EC1E32577D26/license-ijg.txt>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

JBIG2 ライセンス - Copyright (c) 1990, 1991, 1992, 1993 Cornell University. All Rights Reserved. Copyright (c) 1991, 1992 Xerox Corporation. All Rights Reserved. 本ソフトウェアは、使用、複製、派生物の作成、および配布が許可されています。本ソフトウェアまたは派生物のすべてのコピーには、Cornell University および Xerox Corporation による上記の著作権表記と、この段落を含める必要があります。本ソフトウェアおよび派生物の配布は、米国の輸出規制に関するすべて関連法規に準拠している必要があります。本ソフトウェアは「現状のまま」提供されており、XEROX CORPORATION は、ここで示されている他のいかなる規定にもかかわらず、明示黙示を問わず、商業的な使用可能性、および特定の目的に対する適合性に関する制限のない暗黙の保証も含め、またそれに限定されない、いかなる保証も行わず、ソフトウェアまたはその使用から生じた損害に対する責任は、それが契約、不法行為（過失を含む）、または厳格責任のいずれから生じたものであっても、また XEROX CORPORATION がそのような損害の可能性について知らされていたとしても、明示的に否定します。

作成者グループ - Copyright (c) 1995 Alexander Lehmann. 本ソフトウェアは「現状のまま」提供されており、明示黙示を問わずいかなる保証也没有ありません。いかなる場合であっても、作成者は、本ソフトウェアの使用から生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。以下の制限が守られる限りにおいて、すべての方に対して、商用アプリケーション（下記参照）を含む任意の目的のために本ソフトウェアを使用する、および変更して無料で配布する許可が与えられます。

1. 本ソフトウェアの出所が偽られないこと。本ソフトウェアのオリジナルを作成したと主張することは許可されません。本ソフトウェアを製品内で使用する場合は、製品ドキュメントでそのことを述べていただくことを希望しますが、必須条件ではありません。

2. ソースを改変したバージョンは、そのことをわかりやすく示すこと。オリジナルのソフトウェアであると偽らないこと。

3. この注意書きをソース配布の状態から一切除去または改変しないこと。

4. ソフトウェアのバイナリのみを配布する場合は、著作権表記を含む README ファイルを含めること。ただし、ご自身の改変に関する著作権表記および連絡先アドレスを追加することは推奨します。

Apache Components. Copyright (c) 1999-2003. The Apache Software Foundation. All Rights Reserved. 書面による事前の承認なく、Apache ライセンスから派生した製品を推奨あるいは宣伝するために以下の名称を使用してはなりません。Apache Cocoon、Apache Software Foundation、Ant、Jakarta、Apache Avalon、Avalon Excalibur、Avalon Framework、Batik、The Jakarta Project、Commons、FOP、Apache POI、Jakarta-Regexp、Log4j、LogKit、Apache Lucene、Xalan、Tomcat、Struts、Velocity、Xerces、Axis、Jakarta-Oro、xml-commons、および WSIF。書面による事前の承認なく、本ソフトウェアから派生した製品を“Apache”と呼んだり、製品名の一部に“Apache”を使用してはなりません。さらにソフトウェアには、Apache Software License v.1.1. (<http://www.apache.org/>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

Javascript Engine。Javascript Engine に含まれる Mozilla 社の Firefox ブラウザ向けソースコードファイルは、ライセンサーが Mozilla.org から取得したものです。このソースコードファイルは、ライセンサーによって改変されていません。ライセンサーによる Javascript Engine の使用には、Mozilla Public License, Version 1.1 (<http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

LCMS。Marti Maria。追加情報が <http://www.littlecms.com/> から入手できます。本ソフトウェアの使用には、ライセンス (<http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

Mozilla Public License。Mozilla Public License Version 1.1 (「ライセンス」) が適用されます。これらのファイルは、「ライセンス」に定められている場合を除き、使用できません。Javascript Engine。Javascript Engine に含まれる Mozilla 社の Firefox ブラウザ向けソースコードファイルは、ライセンサーが Mozilla.org から取得したものです。このソースコードファイルは、ライセンサーによって改変されていません。ライセンサーによる Javascript Engine の使用には、Mozilla Public License, Version 1.1 (<http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>) に示されている利用条件および免責条項が適用されます。

Evernote コンポーネントに関する著作権表記

Copyright (c) 2007-2009 by Evernote Corporation, All rights reserved.

本パッケージに含まれるソースコードおよびバイナリライブラリの使用は、以下の利用条件の下で許可されます。改変されていないソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は、以下の条件が守られている場合において許可されます。

ソースコードの再配布は、上記著作権表記、この条件一覧、および以下の免責条項を保持しなければなりません。

バイナリ形式での再配布は、上記著作権表記、この条件一覧、および以下の免責条項を、配布の際に同時に提供されるドキュメントまたは他のマテリアルの少なくともいずれかによって再現しなければなりません。

本ソフトウェアは「現状のまま」提供されており、明示黙示を問わず、商業的な使用可能性および特定の目的に対する適合性に関する暗黙の保証も含め、ただしそれに限定されず、いかなる保証也没有。いかなる場合においても、作成者は、責任の根拠が契約、厳格責任、不法行為（過失などを含む）であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用から発生した直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害のいずれに対しても（代替品またはサービスの調達、使用機会やデータ、利益の損失の補償、または業務の中断に対する補償を含み、ただしそれに限定されない）、一切責任を負いません。

このマニュアルで参照されている、その他すべての会社名・製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。